



2012春闘勝利!

## 国労仙台総行動行われる!!

3月10日

3月10日(土)、仙台市錦町公園において仙台総行動が開催されました。この行動は、仙台地本が各支部・分会から事務局を選出し議論を重ね準備を行ってきました。春闘時の地本としての取り組みとして定着し、今集会には、仙台地方本部内から約三〇〇名が参加(支部は約七〇名)し、二〇一二年春闘勝利、東日本大震災早期復興、原発等を街頭で訴えました。

主催者を代表し大沼委員長は、春闘情勢にふれながら「私たちは、JR各社で行われる団体交渉を地方から、職場から運動を通して後押しするため、一人一要求、現場長要請行動等を進めてきた。これらを本日の全体の統一行動で再確認をしていく。今春闘、是非とも組合員のみならず、他労組も社員を求め、しっかりと現場に反映させる取り組みを通して国労の存在をアピールをしていこう。」と訴えました。

この集会には、政党、共闘等、多くの来賓が駆けつけていただきました。また国労本部・松井書記長委員から春闘情勢・組織問題等をはじめとした報告がありました。

そして、福島第一原発事故により避難を余儀なくされている大倉さん(元自動車支部委員長 浪江町)より、「今なお、警戒区域は二〇キロ圏内。順番が来ていないが、ようやく3度目の自宅訪問ができる様になった。今の私の状況は、庭は背丈以上の草が生えて、草を分けながら家に入る状況で道路の脇も同様。牛、豚が堂々と闊歩している。特にびっくりしたのは3月21日時点で川のシジミが全て口を開いていた。当日、水素爆発

によりヨウ素が流れたためシジミが口を開けた模様、大変残念。空には鳥が飛んでいない。私の所も帰ったときには今までのように、カラスもキジバトも雀もいなくなっている。自然界が変わっている。

この4月には警戒区域の見直しされると聞いている。私の家は線量を測定すると1.2μSv、福島に逃げているときは2.2μSv位。今は本宮の仮設住宅にいたるが、室内で0.35μSv位ある。子供たちもそのようなところに逃げて生活している。郡山も福島も二本松もそれぞれ高いところがある。本当に住んでいて安全なのかと感じている。東電社長には怒りを持っている。県知事には謝罪したが、いまだ県民・郡民・町民に謝罪をしていない。青年部当時、東電と交渉したことがあるが、「安全」だと私たちがあざ笑うかの様に言っていた。東電のサービスマンでレプリカ等の展示があり、子供たちに安全だと教えていたが、子供たちも今回の事故で東電が言っていたことは嘘だと分かったと思う。

私たちは、「元の浪江に戻してくれ」「元の家に住ましてくれ」という闘いを続けていく。息の長い闘いになるが、この間受けてきた苦しみを是非とも皆さんと共有し、原発、原発をなくす闘いに共にがんばっていき。と現在の状況等の報告がありました。

行動は、天候不順のため行動時間の変更となり各支部・貨物協議会代表の決意表明、書記長集約が行われ、最後に大沼委員長が「団結カンパニー」を打ち上げ、デモ行進を行いました。